

## 6. 保育の心理学 - 出題範囲 (抜粋)

「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」(平成 15 年 12 月 9 日付け雇児発第 1209001 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知) 別紙 3 「教科目の教授内容」に定める教科目「保育の心理学」、「子ども家庭支援の心理学」及び「子どもの理解と援助」の内容とする。

(以下参照)

<p>&lt;教科目名&gt; 保育の心理学</p>
<p>&lt;内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 発達を捉える視点<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 子どもの発達を理解することの意義</li><li>(2) 子どもの発達と環境</li><li>(3) 発達理論と子ども観・保育観</li></ol></li><li>2. 子どもの発達過程<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 社会情動的発達</li><li>(2) 身体的機能と運動機能の発達</li><li>(3) 認知の発達</li><li>(4) 言語の発達</li></ol></li><li>3. 子どもの学びと保育<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 乳幼児期の学びに関わる理論</li><li>(2) 乳幼児期の学びの過程と特性</li><li>(3) 乳幼児期の学びを支える保育</li></ol></li></ol>

<教科目名> 子ども家庭支援の心理学

<内容>

1. 生涯発達

- (1) 乳幼児期から学童期前期にかけての発達
- (2) 学童期後期から青年期にかけての発達
- (3) 成人期・老年期における発達

2. 家族・家庭の理解

- (1) 家族・家庭の意義と機能
- (2) 親子関係・家族関係の理解
- (3) 子育ての経験と親としての育ち

3. 子育て家庭に関する現状と課題

- (1) 子育てを取り巻く社会的状況
- (2) ライフコースと仕事・子育て
- (3) 多様な家庭とその理解
- (4) 特別な配慮を要する家庭

4. 子どもの精神保健とその課題

- (1) 子どもの生活・生育環境とその影響
- (2) 子どもの心の健康に関わる問題

<教科目名> 子どもの理解と援助

<内容>

1. 子どもの実態に応じた発達や学びの把握
  - (1) 保育における子どもの理解の意義
  - (2) 子どもの理解に基づく養護及び教育の一体的展開
  - (3) 子どもに対する共感的理解と子どもとの関わり
2. 子どもを理解する視点
  - (1) 子どもの生活や遊び
  - (2) 保育の人的環境としての保育者と子どもの発達
  - (3) 子ども相互の関わりと関係づくり
  - (4) 集団における経験と育ち
  - (5) 葛藤やつまずき
  - (6) 保育の環境の理解と構成
  - (7) 環境の変化や移行
3. 子どもを理解する方法
  - (1) 観察
  - (2) 記録
  - (3) 省察・評価
  - (4) 職員間の対話
  - (5) 保護者との情報の共有
4. 子どもの理解に基づく発達援助
  - (1) 発達の課題に応じた援助と関わり
  - (2) 特別な配慮を要する子どもの理解と援助
  - (3) 発達の連続性と就学への支援